



## 自由自在にドローンを操れ！ 大桑小学校でプログラミング学習



9月29日、大桑小学校の5・6年生児童15人が、ドローンを使ったプログラミング学習を行いました。

この学習は、県立岐南工業高等学校電子工学科生徒の協力のもと、社会で必要とされる情報処理能力に対して興味・関心を高めることを目的としています。

当日は、高校生に教わりながら、ドローンを高く飛ばしたり、星形に飛行したりするようにプログラミングを組みました。児童は「自分で組んだプログラムどおりにドローンが動くのが楽しかった」と話しました。

## 富岡小学校で

### 鳥羽川の水質や生き物を調査

10月3日、富岡小学校の総合的な学習の時間「鳥羽川調査隊」で、岐阜土木事務所の職員を講師に迎え、4年生児童が鳥羽川の状態を学びました。

まずは、鳥羽川の水質と、ジュースなどの不純物が混ざった場合の水質を検査して汚れを比べました。次に、鳥羽川にすむ魚などを観察し、最後に鳥羽川の歴史や構造を学ぶ講義を受けました。

児童は「川にごみを捨てるのはだめだと分かった」と話しました。



## 笑顔が集まる憩いの場

### 子ども食堂にこぺこぐう 祝1周年



10月4日、美山地域にある子ども食堂にこぺこぐうで、1周年記念式典を行いました。

令和4年10月にオープンしたにこぺこぐうは、食を通して子どもが安心できる居場所の確保を目的として、月2回子ども食堂を運営しています。

式典では、のれんのお披露目や、にこぺこぐうテーマソングの発表、お米ソングの披露などで大人も子どもも1周年を祝いました。参加者は「お釜で炊いたご飯がおいしい」「地域の温かさが詰まった空間が好き」など良さを語りました。

## 五感で味を楽しむ 食のプロフェッショナル授業



10月13日、桜尾小学校で、食のプロフェッショナル授業・味覚の授業が行われ、4年生13人が参加しました。

この授業は、(一社)岐阜県調理師連合会会長の大脇房夫氏を講師に迎え、味覚を意識しながら味わうことの大切さを学びました。

授業では、味の基本となる五感の話聞いた後、実際にだしや酢、チョコレートなどを食べ、舌に食材が当たる場所によって味の感じ方が変わることを体験しました。

## 大桑小学校で 自分だけのキャンドルづくり

10月13日、大桑小学校で、四国山香り会館の佐曾利美穂副館長を講師に迎え、全校児童がキャンドルづくりを体験しました。

この活動は、同校と大桑地区青少年育成会議、保護者の三者が協働して実施したものです。

当日は、粘土のように軟らかい材料を使って、パンダやおばけなどの形をしたキャンドルを作りました。

児童は「かわいいキャンドルを作れてうれしい」と自分の作品を見つめて喜びました。



## 伊自良南小学校で サトイモ収穫体験



10月16日、大森地区で、伊南ライスセンターの村橋節雄さんを講師に迎え、伊自良南小学校4年生児童がサトイモの収穫体験をしました。

当日は、村橋さんから親芋から種芋をはがすコツやサトイモのおいしい食べ方を教わりました。

児童は「指にいつぱい力を入れて種芋をはがすのが大変」と話し、ぬかるんだ畑に足を取られながら、パキッと軽快な音を鳴らしてサトイモを収穫しました。

## 伊自良北小児童が 稲刈り体験



10月17日、平井地区の伊自良ファームで、岐阜トヨペットの横山太一さんを講師に迎え、伊自良北小学校全校児童が稲刈りを体験しました。

初めて稲を刈る1年生児童は、5、6年生児童に鎌の使い方を教わりながら懸命に稲を刈りました。その後、横山さん付き添いのもと、児童が交代でコンバインに乗り、操縦体験も行いました。

児童は「揺れて怖かったけどコンバインに乗れてわくわくした」と話しました。



## 市内老人クラブ3団体 軽スポーツ大会で上位入賞



東深瀬中洞の皆さん



小倉Cと小倉Dの皆さん

10月19日、瑞穂市サンコーパレットパークで、岐阜地区老人クラブ連合会軽スポーツ大会が開催されました。

ゲートボールで「東深瀬中洞」チームが2位、ペタンクで「小倉D」チームが2位、「小倉C」チームが3位となりました。

参加者は、さわやかな青空のもと、開催地特産の柿がふるまわれる中、市を越えた親睦を深めました。

## 山県の歴史を学ぶ やまがた山と歴史の学校

10月中旬から11月初旬にかけて、市内小学校6年生を対象に、歴史体験学習「やまがた山と歴史の学校」を行いました。この学習は、美濃国守護土岐氏が政治拠点とした大桑城跡など、市の歴史について理解を深めることを目的としています。

10月19日には、美山小学校6年生が早朝に大桑城跡付近の城山展望台に登り、土岐氏も見えたであろう日の出を眺めました。また、古城山に登ったり、四国堀や六万墓など市内の史跡を巡ったりして、市の歴史を学びました。



## 山県高校文化祭で まちの保健室開催



10月20日、山県高校文化祭で、「自分のBodyとハートを知ろう」をテーマに山県高校保健美化委員会と協働し、まちの保健室を開催しました。

当日は、体組成測定や骨密度測定のほか、岐阜保健所による普段の食事の栄養測定や噛んだガムの色で噛む力を調べられるコーナーがあり、生徒たちは自分の体の状態を楽しく知ることができました。

## ハタチの山県市記念事業 山川宗玄老大師「禅と美」

10月21日、古田紹欽記念館で、正眼寺師家・正眼短期大学学長である山川宗玄老大師を迎え「禅と美」をテーマに文化講演会が行われました。参加者は、修行の心・禅・美などの話にメモを取りながら、熱心に聞き入りました。

また、呈茶会場では、記念館のお茶教室で学ぶ子どもたちが、お抹茶と和菓子で参加者をもてなしました。





## 地域連携で安心な山県市に 岐北厚生病院と包括連携協定締結

### 市と岐北厚生病院との包括連携協定締結



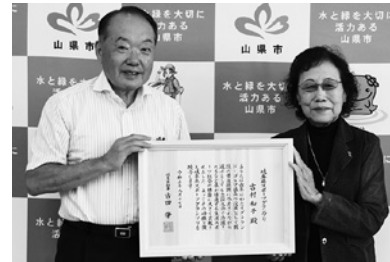
9月26日、市役所公室で、岐北厚生病院との包括連携に関する協定締結式を行いました。この協定は、市と岐北厚生病院が相互に緊密な連携を図り、協働による活動を推進すること、より一層市民への安心や市民サービスの向上を図ることを目的とするものです。岐北厚生病院の益田和明病院長は「より一層市民の皆さんの健康に寄与していきたい」と思いを述べられました。

## 株式会社東亜製作所 企業版 ふるさと納税での寄附に感謝状贈呈



9月25日、株式会社東亜製作所から企業版ふるさと納税として寄附があり、感謝状を贈呈しました。この寄附は、市が取り組んでいる大桑城跡保存継承事業に賛同いただき、市に貢献できればとの思いからいただいたものです。市長は「大桑城跡は現在国の史跡指定を目指して事業を進めている。貴重な財源となり、大変感謝している」と話しました。

## 吉村和子さんが 岐阜県スポーツグランプリ受賞を報告



9月22日、吉村和子さんが岐阜県スポーツグランプリで表彰を受けたことを市長に報告しました。当グランプリは、長年にわたり生きがいを持って楽しくスポーツ活動を実践している高齢者に授与されるものです。吉村さんは平成20年から山県市グラウンドゴルフ協会の役員を務め、岐阜県グラウンドゴルフ協会のレadies委員会事務局長も兼任されています。吉村さんは「楽しいから続けられる。健康の秘訣は楽しむこと」と話されました。

## 茶会と演奏で秋を楽しむ やまがた月見会'23



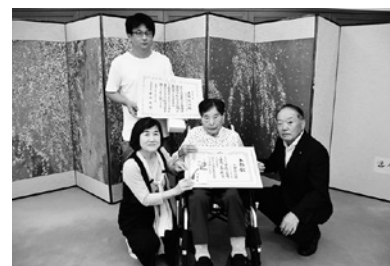
9月30日、古田紹欽記念館で、やまがた月見会'23を開催しました。月見茶会では、中秋の名月を祝う茶会らしく調えた和室で、みやびな雰囲気の中、行われました。演奏会では、野村祐子さんの筆と、野村云山さんの尺八による、月を愛でる優雅な演奏が披露されました。参加者は「毎年、楽しみにしています。演奏会も茶会も月を感じることでできました」と秋の夜長を堪能しました。

## 安全に登下校 富岡小の高木地区を表彰



9月27日、富岡小学校で、山県地区交通安全協会会長の井尾利夫さんが、高木地区登校班の班長14人に対して表彰状を授与しました。今回の表彰は、地域見守り隊からの報告を受けて行われたものです。高木地区の班長の皆さんが、工事の多い通学路で班員を安全に引率している様子や、その班の皆さんが元気にあいさつをして登下校する姿が模範的であるとして表彰されました。

## 土田信江さん 100歳を迎える



9月18日、土田信江さんが100歳の誕生日を迎えられ9月26日に市役所を訪問されました。土田さんの趣味は畑仕事や川や山の景色を眺めること、会話をすることで、現在も老人ホームの職員に昔の話をよくされるそうです。長寿の秘訣は「ご飯を食べること、老人ホームに入所してから、親族や施設の人が驚くほどご飯を食べていることです」。



## 産官学で行うまちづくり授業 第1回まちづくりデザイン実習



10月16日、体験農園みとかで、岐阜大学社会経営学環による、まちづくりデザイン実習が行われました。

この授業は、市のまちづくりに対するビジョンや課題を岐阜大学の学生に共有し、学生目線による課題解決に向けた施策の立案・発表を目標としています。第1回では、体験農園みとかによる市の課題解決に取り組む事例の紹介や市内施設見学を行い、学生は市の現状を学びました。

## 高齢者叙勲で本條和秀さんが 瑞宝双光章受章



市内在住で元公立小学校校長の本條和秀さんが、高齢者叙勲により瑞宝双光章を受章され、10月6日に教育長から受章伝達を行いました。

本條さんは、昭和31年4月に美山村立富波中学校に赴任された後、山県郡内の各小中学校や八百津町、恵那市にも勤務されました。平成8年3月に美山町立西武芸小学校校長を退職されるまで、子どもたちへ熱意を持って指導し県内教育の振興に貢献されました。

## 医療と介護で連携を 在宅介護の体制づくり研修会



10月5日、美山中央公民館で、医師や薬剤師などの医療関係者と、ケアマネジャーなど介護関係者を対象に研修会が行われ、約70人が参加しました。

この研修会は、介護が必要になっても住み慣れた家で生活していきたい本人やその家族を支えていくための体制づくりを目的に行われました。

当日は、事例を通したグループワークなどがあり、医療・介護関係者のスムーズな連携につながる良い機会となりました。

## 第48回 山県市学校保健研究大会



10月19日、高富中学校で、市学校保健会主催の第48回山県市学校保健研究大会が行われました。

この大会は、「心身ともに健康で、たくましい児童・生徒の育成」をテーマに行われ、環境衛生活動優良校や歯と口腔の健康づくり最優秀賞の表彰などがありました。また、あかなベキズクリニックの加納正嗣院長が「なぜ？なに？身体の不思議」と題して講演を行い、参加した生徒や教職員は興味深く耳を傾けていました。

## 株式会社アクティブワン 企業版 ふるさと納税での寄附に感謝状贈呈



10月17日、株式会社アクティブワンから企業版ふるさと納税として寄附があり、感謝状を贈呈しました。

この寄附は、市が取り組んでいる木材利用・普及啓発事業に賛同いただき、まちの環境整備に一役買えればとの思いからいただいたものです。

市長は「企業版ふるさと納税を寄附いただき、大変感謝している。市の活性化のため有効に活用したい」と話しました。

## ねんりんピック出場 木野孝子選手と土原紀子選手を激励



10月17日、市役所公室で、ねんりんピック愛顔のえひめ2023に出場する木野孝子選手と土原紀子選手の激励会を行いました。

木野孝子さんはテニス競技、土原紀子さんはソフトテニス競技でそれぞれ厳しい予選を勝ち抜き、岐阜県代表として出場されます。

二人は「大きな大会に出られることをうれしく思う。岐阜県代表として頑張りたい」と抱負を語られました。

## 体を使って元気に遊ぼう

### わんぱくひろば

「体を使って親子で元気に遊ぼう」を目的に、年間5回わんぱくひろばを開催しています。外遊びを中心に、伊自良ふれあいドームや四国山香りの森公園などで楽しく遊んでいます。市外の親子も参加でき、市内の遊び場や自然豊かな山県市の良さも知ってもらえる良い機会となっています。

写真は10月の落ち葉遊びの様子です。子どもたちも、のびのびと普段はできない遊びに目を輝かせ笑顔があふれています。

12月は、高富児童館の遊戯室を予定していますが、雪が降ったら館庭で雪遊びをしたいと思っています。

▶日時 12月21日(木) 10時30分～11時30分

▶定員 10組

▶申込方法

氏名、連絡先を電話でお知らせください。



10月開催 落ち葉遊びの様子

## 地域包括支援センターだより

高南部地域包括支援センター Tel.22-6886

高北部地域包括支援センター Tel.52-3340

## 人権について考えてみませんか？

国際連合で世界人権宣言が採択された12月10日は**世界人権デー**と定められています。今月は高齢者の人権について一緒に考えてみましょう。

### 人権とは？

「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」のことです。内閣府による人権擁護に関する世論調査(令和4年8月調査)によると、右のような結果でした。

### 困ったら相談してください

人権は、高齢者に限らず**全ての人が平等に、そして無条件に尊重されるもの**です。社会的地位の区別なく、**一人一人がかけがえのない存在と認め合い受け入れる**。その気持ちが大切です。

### 高齢者に関わる人権問題

- 1位 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと
- 2位 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
- 3位 高齢者がじゃま者扱いされること
- 4位 働く能力を発揮する機会が少ないこと



地域包括支援センターでは、悪徳商法や特殊詐欺についてなど、人権問題に関わる出前講座を開催しています。不安なことや困りごとがあれば、ひとりで抱え込まずに気軽に相談してください。